PTZ カメラプロンプター

TP-900

取扱説明書

datavideo
JAPAN

www.datavideo.jp

目次

内容物........3
概要........5
特長........5
TP-900 の組み立て........6
パソコンを接続し IP 経由で制御・監視する........10
　直接イーサネット接続........10
　ルーター / DHCP LAN 経由の接続........11
カメラ露出と 70/30 ミラーガラス........12
オプションのプロンプターリモコン........13
　WR-500 ハンドヘルドコントローラー........13
　FS-30 フットスイッチ........16
dvPrompter Plus アプリ........17
　ドキュメント画面........17
　テキストスクリプトとスライドの作成と編集........18
　リアルタイム編集........23
　プレイリスト........24
　コントロール........25
　メニューバー........28
　複数のデバイスを同期させる........34
　外部ディスプレイの接続........36
　アプリのアップデート........37
仕様........39
サポート窓口........40

内容物

製品には下記の部品が含まれます。いずれかの部品が同梱されていない場合は、取扱店まですぐにご連絡下さい。

アイテム	説明	数量
A	15 インチ LCD コントロールユニット	1
B	12V 2A アダプター	1
C	USB マウス	1
D	5m イーサネットケーブル	1
E	WR-500 リモコン用 3.5mm 入力アダプター	1
F	TP-900 金属ベーストレイ（三脚板付き）	1
G	150 x 150 PTZ シザーリフト	1
H	布製フード	1
I	M4 CRV 六角工具	1
J	9mm 長 1/4 つまみネジ（赤ドット付き）	1
K	9mm 長 1/4 つまみネジ（ワッシャー付き）	1
L	M6*40mm ネジ	8
M	M6*14mm ネジ	10
N	16mm 長ネジ	1
O	3/8 から¼へのアダプター	1
P	565mm 垂直方向押出材	4
Q	475mm 水平方向押出材（90 度の結合ブロック付き）	2
R	325mm ガラスサポート押出材（片エンドキャップ付き）	2
S	250mm PTZ リフト押出材（両エンドキャップ付き）	1
T	70/30 ミラーガラス	1
U	ガラスサポートバー	1
V	予備用黒押出材エンドキャップ	2
W	予備用 M6*14mm ネジ	2
X	DTap ケーブル	2
Y	小型 CRV 六角工具（F から三脚板を取り外すため）	1
Z	小型 CRV 六角工具（Q から 90 度接合ブロックを取り外すため）	1

R
U
P
S
Q
G
F
N
J
K
O
L
M
Y Z I
V
W
T
H
datavideo
A
E
C
B
D
X

概要

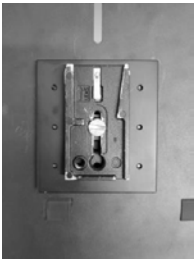
TP-900 テレプロンプターは、PTZ カメラ用に特別に設計されています。PTZ を逆さに取り付けることで、プロンプター内の PTZ カメラの操作上の制限を取り除き、PTZ が実現できるショットに大きな動きを持たせることができます。
TP-900 は、dvPrompter Plus アプリを内蔵した明るい 15 インチ LCD スクリーンを備えています。ノートパソコンでソフトウェアを実行する必要はありません。
用意した台本やキューシートを dv Prompter Plus アプリにコピー＆ペーストし、設定した自動速度でスクロールさせたり、オプションの有線/無線リモートでユーザーが操作することで、より自然な仕上がりにすることができます。また、オプションの有線/無線リモコンを使ってユーザーがコントロールすることも可能です。

特長

- 調整可能な PTZ リフト、市販のすべての PTZ カメラをサポート。
- dvPrompter Plus ソフトウェア内蔵。
- HDMI 入力と HDMI 出力は、複数の TP-900 を一緒に接続するために使用することができ、イーサネットを介して同期することも可能です。
- HDMI 出力は、外部ディスプレイの駆動にも使用できます。
- イーサネット経由でフルコントロール可能。
- オプションで有線リモコンとフットペダルが利用できます。
- 標準的なワイヤレスプレゼンテーションリモコンでも制御可能。

TP-900 の組み立て

1. 三脚のクイックリリースプレートを、TP-900 金属ベーストレイ（三脚板付き）**（F）**のネジ穴に、ねじ込んで取り付けます。必要に応じて、3/8 から ¼アダプター**（O）**を使用します。

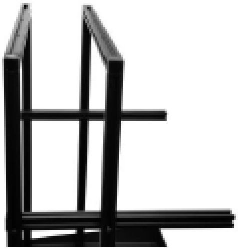


2. 次に、金属ベーストレイ（三脚板付き）**（F）**を、三脚またはドリーのヘッドに、スライドして固定します。

3. 565mm 垂直方向押出材**（P）**4 本を取り付けます。M6*14mm ネジ**（M）**および M4 CRV 六角工具**（I）**を使用します。

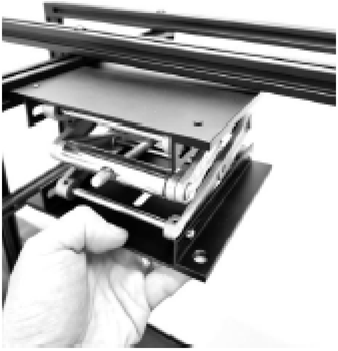
4. 325mm ガラスサポート押出材（片エンドキャップ付き）**（R）**2 本を、565mm 垂直方向押出材**（P）**4 本に取り付けます。M6*40mm ネジ**（L）**および M4 CRV 六角工具**（I）**を使用します。

5. 475mm 水平方向押出材（90 度の結合ブロック付き）**（Q）**2 本を取り付けます。M6*14mm ネジ**（M）**および M4 CRV 六角工具**（I）**を使用します。黒い円形のプラスチックキャップを付け替えます。



6. 250mm PTZ リフト押出材（両エンドキャップ付き）**（S）**を取り付けます。M6*40mm ネジ**（L）**および M4 CRV 六角工具**（I）**を使用します。

7. 150 x 150 PTZ シザーリフト**（G）**の片側を、既に取り付けられている、250mm PTZ リフト押出材（両エンドキャップ付き）**（S）**の溝に挿入します。図のように、調整ノブがプロンプターの背面に面していることを確認してください。



8. 2 つ目の 250mm PTZ リフト押出材（両エンドキャップ付き）**（S）**を取り付けます。M6*40mm ネジ**（L）**および M4 CRV 六角工具**（I）**を使用します。

9. 70/30 ミラーガラス（**T**）を、2 つの緑ドットが演者に向くように挿入します。

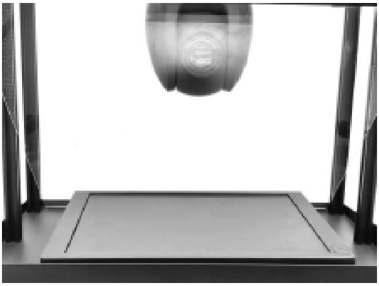
10. ガラスサポートバー**(U)**を取り付けて、70/30 ミラーガラス**(T)**を固定します。M6*14mm ネジ**(M)**と M4 CRV 六角工具**(I)**を使用します。

11. 9mm 長 1/4 つまみネジ（ワッシャー付き）（**K**）で、PTZ カメラを 150 x 150 PTZ シザーリフト（**G**）に取り付けます。ワッシャーは必要に応じて取り外すことができます。

12. 必要に応じて、150 x 150 PTZ シザーリフト（**G**）の位置を調整します。※PTZ レンズを 70/30 ミラーガラスにできるだけ近づけると、ベストなパン範囲を実現します。

13. 16mm 長ネジ（**N**）で、150 x 150 PTZ シザーリフト（**G**）の位置をロックします。

14. 金属ベーストレイ（三脚板付き）**（F）**の スロットに、9mm 長つまみネジ（赤ドット付き）**（J）**を挿入して、15 インチ LCD コントロールユニット**（A）**を取り付けます。



15. 布製フード**（H）**を取り付けます。フードは一体型マグネットで、金属ベーストレイ（三脚板付き）**（F）**の内側とガラスサポートバー**（U）**に固定します。PTZ カメラやケーブルが TP-900 のフレーム後部から突き出ている場合は、フードの後部を拡張できます。

16. 主電源**（B）**を接続して、15 インチ LCD コントロールユニットをオンにします。電源ケーブルは、金属ベーストレイ（三脚板付き）**（F）**の穴から配線できます。dvPrompter Plus ソフトウェアは自動的にロードされます。詳細なソフトウェアの使用手順については、本書の該当章をご覧ください。

17. 必要に応じて、15 インチ LCD コントロールユニットの位置を調整します。

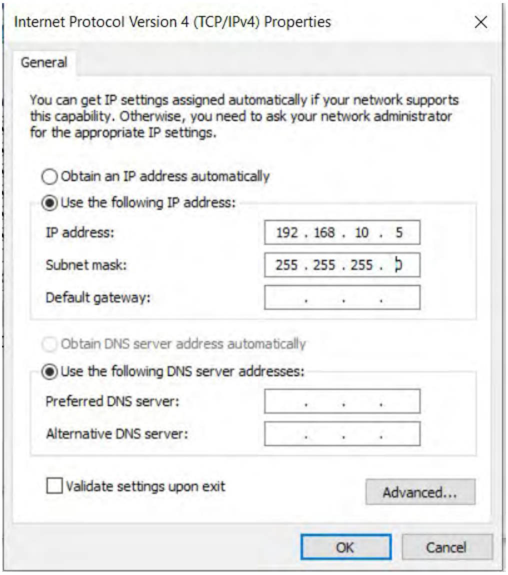
18. 必要に応じてカメラの露出設定を調整します。本書のカメラ露出の章を参照してください。

パソコンを接続し IP 経由で制御・監視する

TP-900 には、Datavideo dvPrompter Plus アプリが内蔵されています。
TP-900 は、最新の Web ブラウザーを使用して、任意のイーサネット接続デバイスから監視および制御できます。

直接イーサネット接続

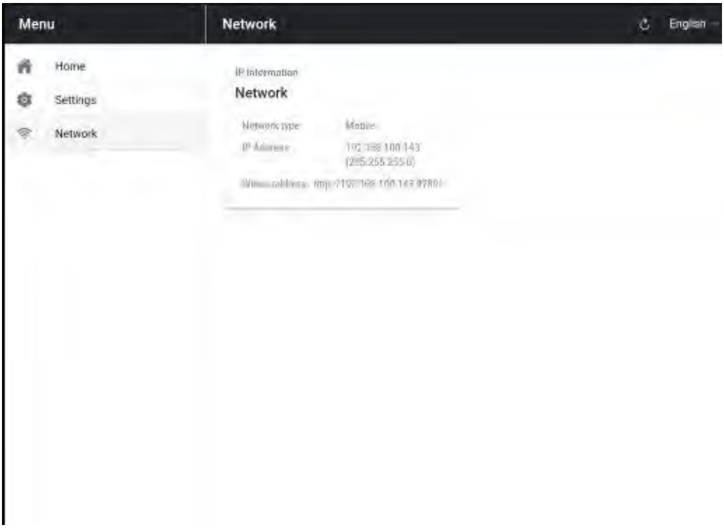
1. TP-900 とパソコンをイーサネットケーブルで接続します。
2. TP-900 の電源をオンにすると、DVPRompter Plus アプリは自動的に開きます。
3. TP-900 にはデフォルトで静的 IP アドレス 192.168.10.10 が設定されています。パソコンにも静的 IP アドレスを設定する必要があります。
4. Windows コンピューターの電源を入れ、**Windows ネットワークおよび共有センター内**で設定された静的 IP に設定します。この例では、コンピューターが TP-900 と同じ IP 範囲に一致するように、コンピューターに次の IP 設定が与えられています。



5. Web ブラウザを開き、http：//192.168.10.10:9789 に移動すると、以下に示すメインコントロールページが表示されます。
6. ソフトウェア操作手順については、本書の該当章をご覧ください。

ルーター / DHCP LAN 経由の接続

1. 付属の USB マウスを TP-900 に接続し、電源を入れます。
2. TP-900 が起動したら、右クリックして dv Prompter Plus アプリを閉じます。
3. [Settings]>[More]>[Ethernet]に移動します。
4. [Ethernet IP mode]を、静的から DHCP に変更します。
5. TP-900 を既存の LAN に接続します。
6. dv Prompter Plus アプリを開きます。
7. メニューバーをクリックし、[Network]をクリックします。
8. ネットワークコントロール URL が以下のように表示されます。



9. ソフトウェアの操作手順については、本書の該当章を参照してください。

カメラ露出と 70/30 ミラーガラス

レンズの前に 70/30 ガラスを使用してカメラをセットアップした後、カメラのセットアップとホワイトバランスを調整します。これは 70/30 ガラスがほぼ ND フィルターの効果のようにカメラの露出に約 1 ストップの影響を与えるためです。露出とホワイトバランスの設定に関する詳細なヘルプとアドバイスについては、カメラのマニュアルを参照してください。

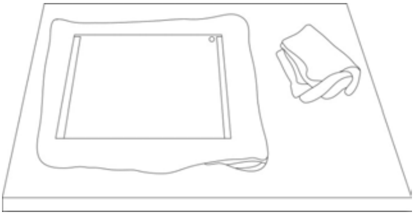
70/30 ガラスのクリーニング

本製品には 70/30 ガラス板が含まれていますので、取り扱いにご注意ください。
破損や怪我のリスクを避けるために、この取扱説明書に従って、ガラスの輸送、開梱、清掃、組み立て、分解を行う際には注意してください。
Datavideo は、定期的にガラスを清掃し、埃や指紋を除去することをお勧めします。これにより、カメラがガラスを通して見るときに、最高の画質で記録されるようになります。

ガラスがプロンプターに取り付けられたままで決してガラスを掃除しないでください。プロンプターから慎重に取り外し、ガラスを掃除してから、プロンプターフレームに再び取り付けしてください。常に布で覆ってガラスの端を持ち慎重に取り扱ってください。

ガラスの必要な品質を保持し、洗浄中にガラスに傷をつけないために

- ガラスに研磨布、研磨パッド、研磨剤ベースの洗浄液を使用しないでください。
- 酸や酢の溶液をベースにした洗浄液を絶対に使用しないでください。



ガラスは、あらかじめきれいな布を敷いた、テーブルなどの柔らかく安定した、汚れや糸くずのない作業面の上に置きます。次に、もう一枚のきれいな糸くずの出ない柔らかい布で、ガラスを拭いてください。

ガラスに直接洗浄液を塗布せず、布に少量の洗浄液を塗布またはスプレーしてください。ガラスをクリーニングし、布で軽く円を描くように作業してください。指の跡や縞模様がすべて消えていることを確認してから、ガラスを裏返し、反対側のガラスも同じように拭いてください。

オプションのプロンプターリモコン

TP-900 プロンプターは、ノートパソコンやタブレットを使って、IP 経由でリアルタイムに制御・監視することができます。

オプションの、Datavideo WR-500 ハンドヘルドコントローラー、Datavideo FS-30 フットスイッチコントローラーを使用することができます。
詳しくは、以下をご覧ください。

WR-500 ハンドヘルドコントローラー

オプションで、有線で直接操作するためのリモートコントロール WR-500 を購入することができます。WR-500 は Bluetooth と有線に対応しており、TP-900 は有線のみ対応しています。WR-500 は、テキストとスライドの両方のスクロール操作に対応しています。

WR-500 リモコンはパッケージから取り出した時点で有線モードになっています。ボタンが押されると赤色 LED が点滅します。

有線モードでは、リモコンを TP-900 に物理的にケーブルで接続する必要があります。このリモコンには 4 極ジャック-ジャックプラグケーブルが付属しています。

ケーブルを 3.5mm 入力アダプター（TP-900 に付属のアイテム **E**）に接続します。もう一方の端は、WR-500 リモートのジャックソケットに差し込みます。

注：このリモートを有線モードで使用する場合、**DV Prompter Plus** アプリも **Remote menu option** で **Wired - WR-500** に設定されている必要があります。

操作ボタン

ボタン	テキストスクロール中	一時停止中	スライド
+	スクロールを速くする	次のブレーク マーカー	次のスライド
−	スクロールを遅くする	前のブレーク マーカー	前のスライド
▷II	一時停止	再生	該当なし
≪|	フォントサイズを小さくする	プレイリストの前のスクリプトを読み込む	プレイリストの前のスクリプトを読み込む
|≫	フォントサイズを大きくする	プレイリストの次のスクリプトを読み込む	プレイリストの次のスクリプトを読み込む

LED インジケーター	
赤色 LED	有線モード
緑色 LED	Bluetooth 4

WR-500 リモートアクセサリー

ランヤードネックレス

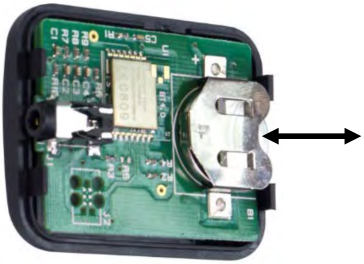
ランヤードネックレスをジャックプラグソケットに差し込む。

CR2032 バッテリー

このリモコンの内部には、**CR2032 ボタン電池**が搭載されています。付属の純正電池（新品時）は、平均的・通常的な使用で 3 年の寿命です。

このボタン電池は、電池が切れたときにユーザーが交換することができます。**PCB やケースを傷つけないように、バックケースカバーを慎重に取り外してください。**その後、古い電池をスライドさせて取り出してください。

新しいボタン電池は、電池のプラス（+）側が PCB 電池スロットの（+）記号に向くように取り付けてください。



FS-30 フットスイッチ

オプションでフットスイッチ・コントロール「FS-30」を購入すれば、有線で直接コントロールすることも可能です。フットスイッチ FS-30 は USB で接続し、独立した機能を持つ 3 つのペダルを使用することができます。FS-30 は、非接触型の光電センサーを使用しているため、ほぼ無音で動作します。

FS-30 は、テキストのスクロールとスライドの両方のコントロールに対応しています。

操作ボタン

FS-30 は、dvPrompter Plus virsion 1581 以降を搭載した TP-900 プロンプターに対応します。dvPrompter Plus ソフトウェアのアップデートについては、本書の該当章を参照してください。

FS-30 をプロンプターの 15 インチ LCD モニターの**白い USB ポート**に接続してください。FS-30 は接続後すぐに動作しますので、dvPrompter Plus アプリでコントロールオプションを設定する必要はありません。

各ペダルの機能は下表のとおりです。

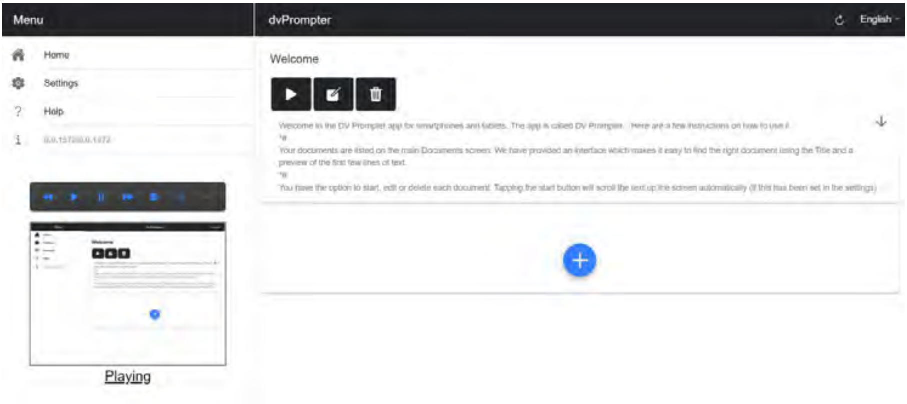
ボタン	テキストスクロール中	一時停止中	スライド
左ペダル	スクロールを遅くする	前のブレークマーカー	前のスライド
中間ペダル	一時停止	再生	該当なし
右ペダル	スクロールを速くする	次のブレーク マーカー	次のスライド

dvPrompter Plus アプリ

TP-900 には、Prompter Plus アプリのフルロック解除版が内蔵されています。

ドキュメント画面

アプリを初めて起動すると、以下の画面が表示されます。
左上隅のメニューバーから、さまざまな設定メニューにアクセスできます。

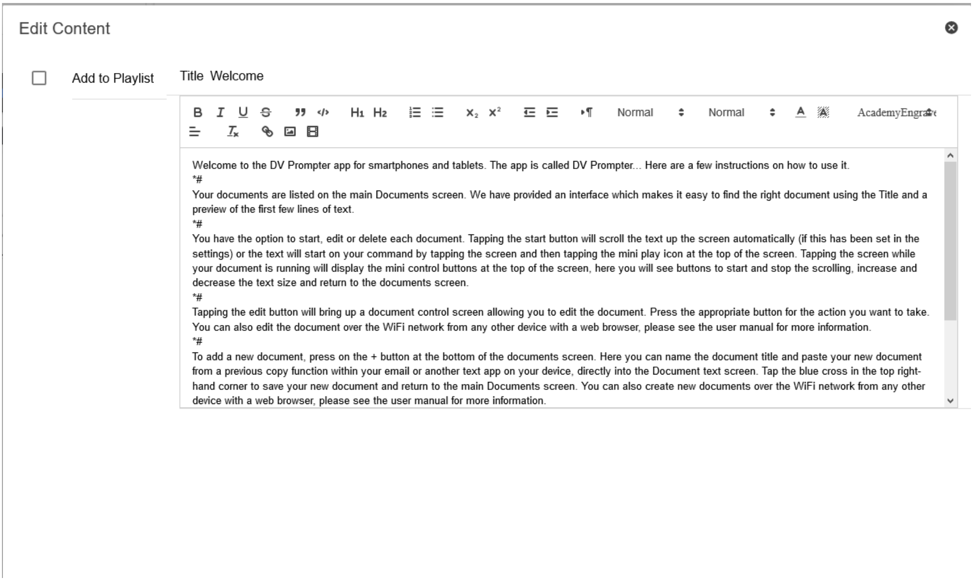


テキストスクリプトとスライドの作成と編集

アプリのリモコン WebUI にアクセスする方法については、本書の「ネットワーク」の章を参照してください。

テキスト原稿

Web インターフェースから新しいスクリプトを作成するには、[+]ボタンをタップしてタイトルを入力し、リッチテキストエディタにスクリプトの本文を入力するだけです。スクリプトは、[X]をタップしてリッチテキストエディタを閉じると、自動的に保存されます。
デバイス上でスクリプトを編集するには、[Edit]ボタンをタップします。スクリプトは、[X]をタップしてリッチテキストエディタを閉じると自動的に保存されます。

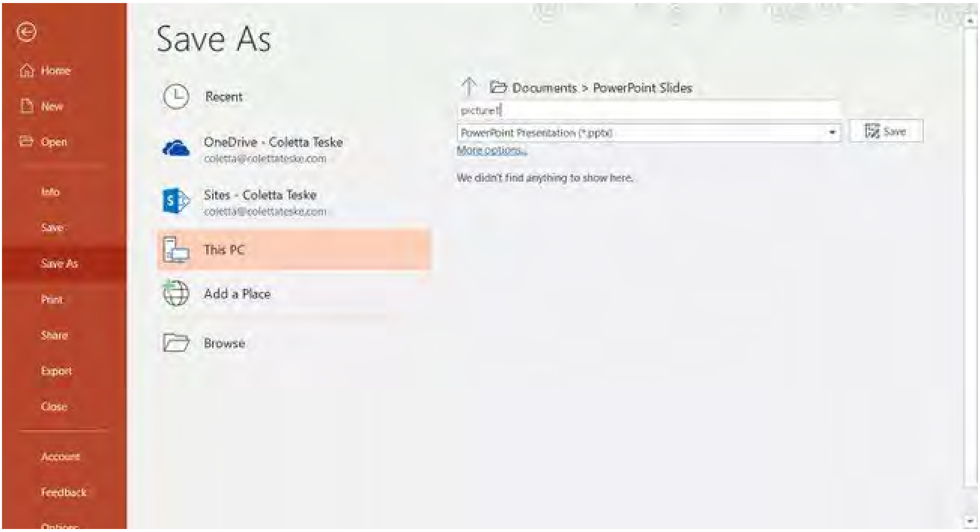


スライド

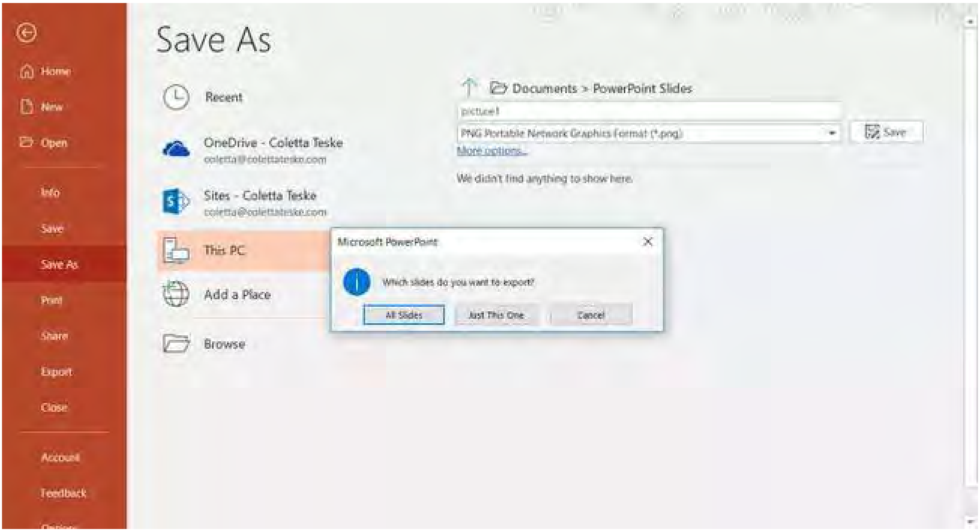
dvPrompter Plus は、テキストベースのスクリプトとスライドをシームレスに切り替えることができ、スライドとテキストベースのスクリプトをプレイリストに追加することができます。
dvPrompter Plus はスライドのリアルタイムミラーリングに対応しており、ミラーガラス越しに見る場合でもコンテンツが正しい方向に表示されます。
注：スライドモードでは、スライドを画像として取り込むことができますので、PowerPoint や Keynote からは、まずスライドを画像としてエクスポートする必要があります。

PowerPoint からスライドをエクスポートする

1. 画像にスライドを変換する前に、PPTX または PPT 形式に PowerPoint プレゼンテーションを保存します。
2. 画像として保存したいスライドを選択します。すべてのスライドを画像に変換したい場合は、任意のスライドを選択します。
3. [File]>[Save As]を選択します。Mac 版 PowerPoint では、[File]>[Export]を選択します。
4. ファイルの保存場所を選び、画像ファイルの名前を入力します。



5. [Save As]の下矢印を選択すると、ファイル形式のリストが表示されます。デフォルトでは、[PowerPoint Presentation (*.pptx)]がテキストボックス内に表示されます。Mac の場合は、[File Format]横のメニューを使用します。
6. プレゼンテーションを保存する画像形式を選択します。JPEG を選択します。
7. [Save]を選択します。Mac 版 PowerPoint では、[Save Every Slide]または[Save Current Slide Only]のいずれかを選択し、[Export]を選択します。
8. [All Slides]または[Just This One]のどちらをエクスポートするかを選択します。

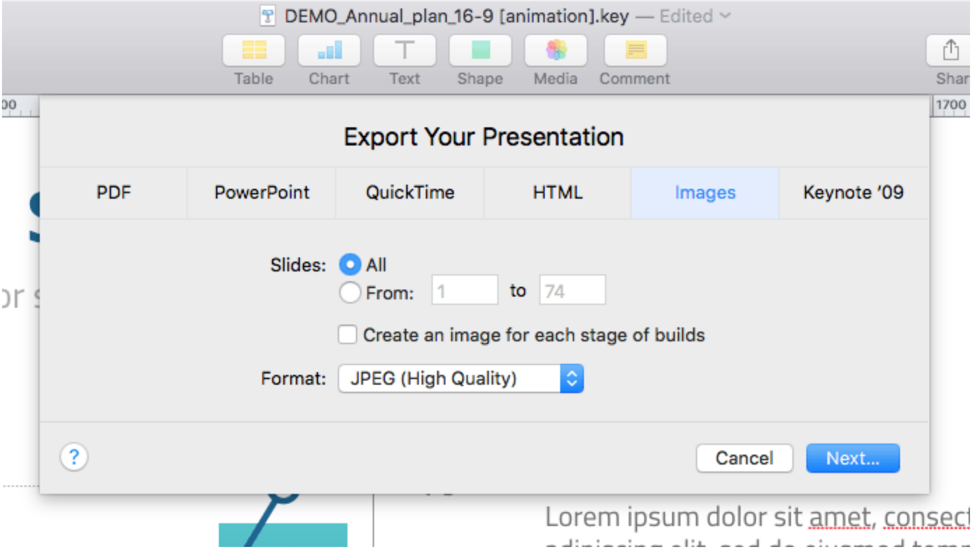


9.　選択したファイル形式でスライドが保存されます。

複数の PowerPoint スライドを個別の画像ファイルに変換する場合、変換先フォルダに新しいフォルダが作成されます。この新しいフォルダは、プレゼンテーションと同じ名前を使用します。PowerPoint ファイルを保存していない場合、エクスポートされたスライド画像は、例えば Presentation1 などのデフォルト名でフォルダに保存されます。

Keynote からスライドをエクスポートする

1. スライドを画像に変換する前に、作業が失われないようにプレゼンテーションを保存してください。
2. トップメニューで[File]>[Export to]>[Images]を選択します。
3. [JPEG (High Quality)]形式を選択し、画像として保存したいスライドの範囲を指定します。すべてのスライドを保存したい場合は、[All]というポイントにチェックを入れます。



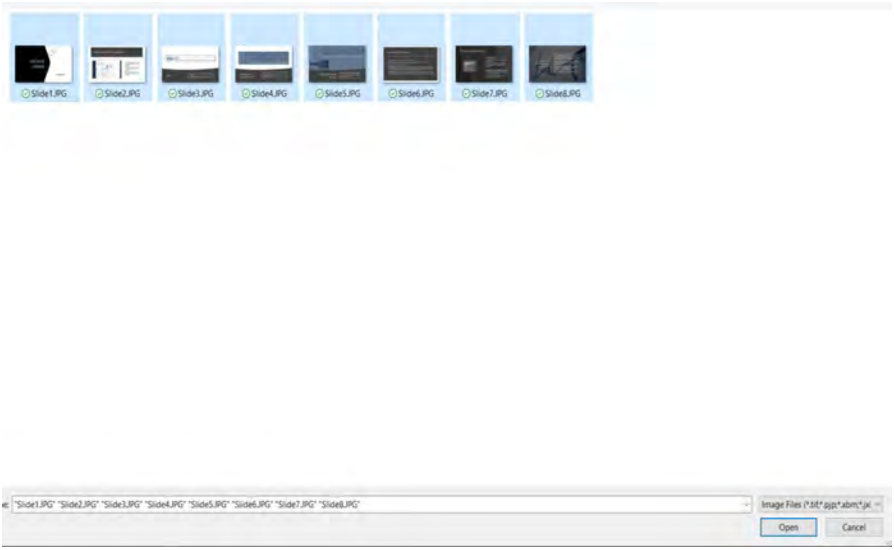
4. [Next]をクリックします。
5. 開いたウィンドウで、画像を保存するフォルダを選択します。スライドのデフォルト名を設定します。エクスポートの際に、Keynote はこの名前にシーケンス番号を自動的に追加します。

スライドのインポート

1.　[+]ボタンをタップまたはクリックし、[Slides]オプションを選択します。
2.　タイトルを入力します。ここでは My Slides としました。

3.　複数のスライドをインポートするには、「ボタン 2」をクリックします。「ボタン 1」は、既存のスライドデッキに 1 枚のスライドを追加するために使用することができます。

4.　インポートしたいスライドをすべて選択します。[CTRL + A]で全選択できます。



5. スライドはアルファベット順にインポートされます。各スライドの横にある青いゴミ箱のアイコンをクリックすると、個々のスライドを削除することができます。

6. デバイスの「高さ」または「幅」に画像を合わせることができます。スライドとデバイスの画面のアスペクト比に基づいて、スライドの伸縮を回避するオプションを選択します。
7. スライドは、[X]をタップまたはクリックして編集画面を閉じると自動的に保存されます。また、編集画面の右上隅にある青い保存ボタンを使用して変更を保存することができます。

スライドを編集するには、[Edit]ボタンをタップまたはクリックするだけで、リッチテキストエディタを閉じたときに[X]をタップまたはクリックすると、スライドが自動的に保存されます。

リアルタイム編集

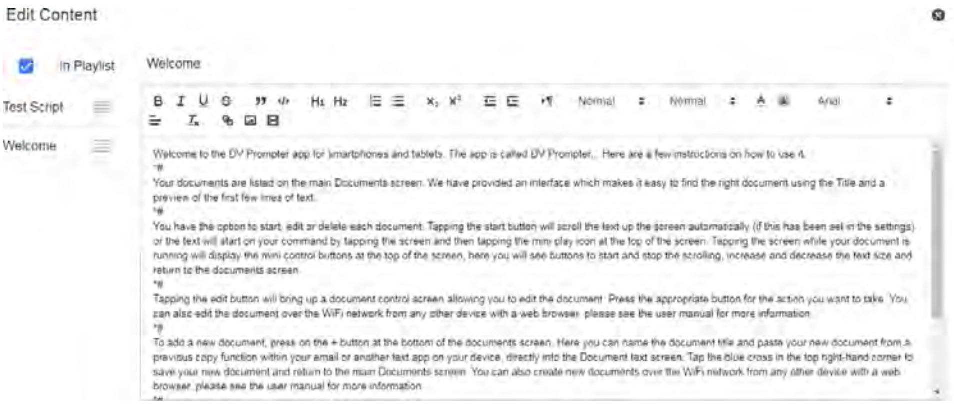
リアルタイム編集は、現在画面上にあるスクリプトを修正することができます。Web インターフェースを介してスクリプトを修正するだけで、変更を保存すると同時にリアルタイムで更新されるのを見ることができます。

注: 変更が読み込まれる間、スクロールするテキストは一時的に停止します。

プレイリスト

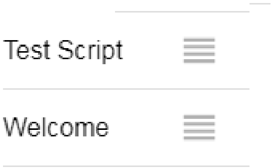
プレイリストにスクリプトを追加する

WebUI でスクリプトを作成または編集する際に[In Playlist]オプションをチェックすると、アプリはリスト内の次のスクリプトを自動的にロードします。また、ハードウェアリモコンを使用してスクリプト間をすばやくジャンプすることができます（詳細については、本書のコントロールの章を参照してください）。



プレイリストの順番を変更する

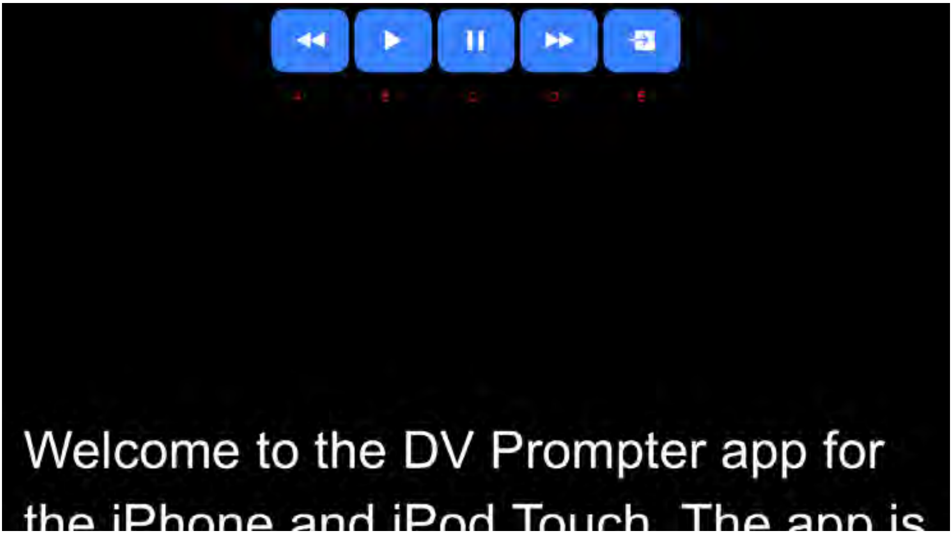
プレイリストの実行順序を変更するには、スクリプト名の右側にある横棒をクリックし、希望の位置までドラッグするだけです。



コントロール

デバイス（USB マウス）経由

スクリプトが読み込まれた状態で画面をクリックすると、以下のようなメニューバーが表示されます。

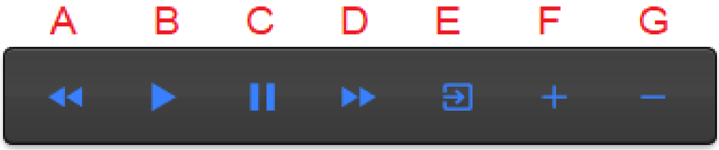


A) スクロール時に文字サイズを小さくする / 一時停止時にプレイリストの前のスクリプトにジャンプする
B) スクロール開始/一時停止
C) スクロール開始/一時停止
D) スクロール時に文字サイズを大きくする / 一時停止時にプレイリストの次のスクリプトにジャンプする
E) スクリプトのアンロードとドキュメント画面への復帰

Web インタフェース経由

アプリのリモコン WebUI にアクセスする方法については、本書の「ネットワーク」の章を参照してください。

ネットワーク制御のインターフェイスは以下のとおりです。



A) スクロール時に文字サイズを小さくする / 一時停止時にプレイリストの前のスクリプトにジャンプする
B) スクロール開始/一時停止
C) スクロール開始/一時停止
D) スクロール時に文字サイズを大きくする / 一時停止時にプレイリストの次のスクリプトにジャンプする
E) スクリプトのアンロードとドキュメント画面への復帰
F) スクロール時の速度を上げる/一時停止時に前のブレイクマーカーにジャンプする
G) スクロール時の速度を落とす/一時停止時に次のブレイクマーカーにジャンプする

キーボードショートカット

キーボードショートカットは、上記のボタン（A～G）のいずれかに割り当てることができます。キーボードショートカットを有効にし、割り当てるには、まずWeb インターフェースの[Settings]メニューから[Enable Hotkeys]オプションを有効にします。デフォルトのショートカットは以下のとおりです。
ショートカットを変更するには、マウスで割り当てたいボタンを左クリックし、割り当てたいキーの組み合わせを押すだけです。

注：システム機能に割り当てられている、または編集時に使用されるキーの組み合わせを割り当てないように注意してください。

オプションのハードウェアリモコンを使用する

詳しくは、本書の「オプションのプロンプターリモコン」の章をご覧ください。

メニューバー

メニューバー（ドキュメント画面の左上にあります）をクリックすると、以下のようなメニューが表示され、3 つのオプションが表示されます。

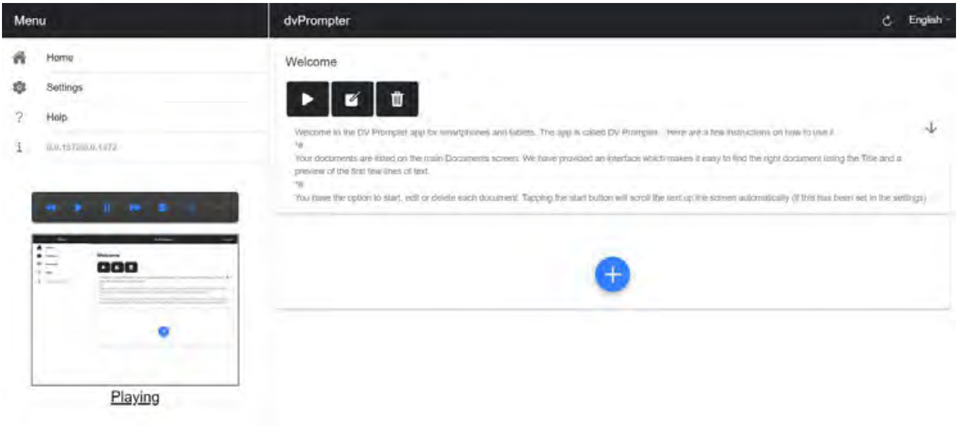
Home：ドキュメント画面に戻ります。

Settings：すべてのアプリの設定を表示します。

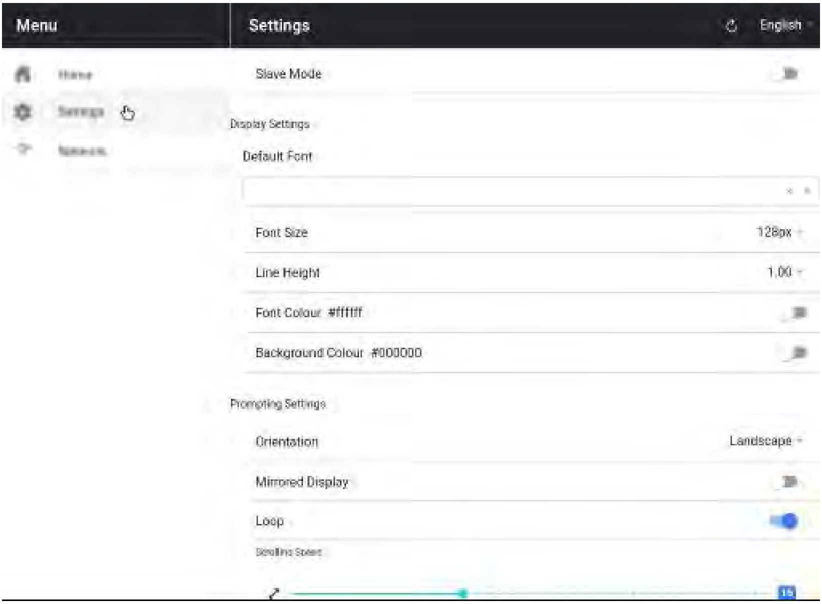
Network：ローカルのイーサネットネットワーク上で Web ブラウザを持つデバイスからアプリにアクセスするために必要なアドレスが表示されます。

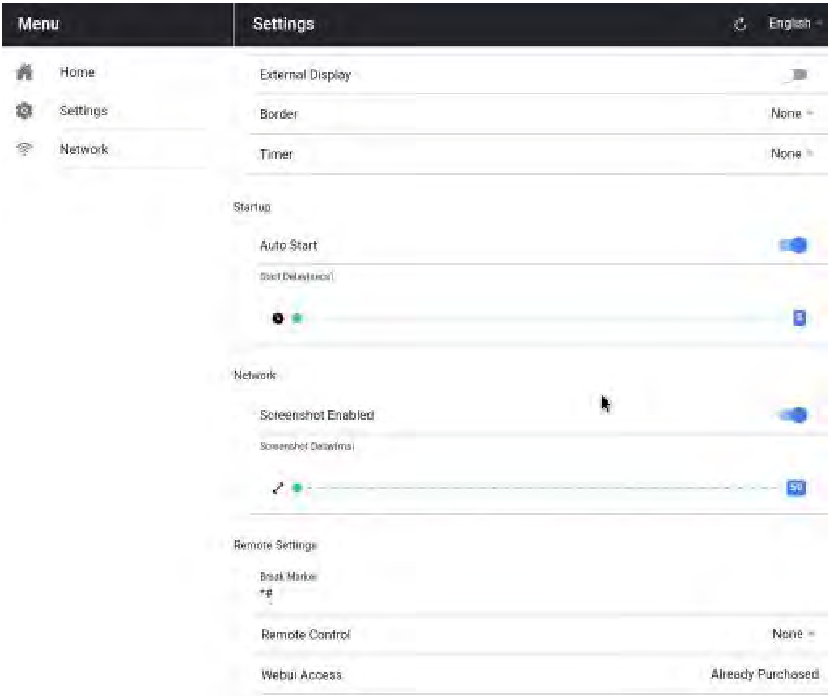
Help：dvPrompter Plus の QSG に直接リンクします。

i：dvPrompter Plus のアプリのバージョンを表示します。



設定


Menu
Settings
English
Slave Mode
Display Settings
Default Font
Font Size
128px
Line Height
1.00
Font Colour #ffffff
Background Colour #000000
Prompting Settings
Orientation
Landscape
Mirrored Display
Loop
15


Menu
Settings
English
Home
Settings
Network
External Display
Border
None
Timer
None
Startup
Auto Start
Network
Screenshot Enabled
Remote Settings
Remote Control
None
Webui Access
Already Purchased

Slave Mode : このモードを有効にすると、デバイスは他の dvPrompter アプリのスレーブ画面として動作します。詳細については、「複数のデバイスを同期させる」の章を参照してください。

Default font : 編集画面で使用するデフォルトのフォントを選択します（編集画面を使用して、スクリプトごとに上書きできます）。

Font Size : デフォルトのフォントサイズを設定します。編集画面内でフォントサイズが設定されていないすべてのテキストに適用されます。

Line Height : スクロールする際の行間を設定します。1 以下の値ではテキストが重なってしまう可能性があります。

Font colour : デフォルトのフォントカラーを設定します（編集画面でスクリプトごとに上書き可能）。

Background colour : 背景の色を設定します。

Orientation : デバイスの [Landscape]（横）または[Portrait](縦)
の向きを選択します。

Mirrored Display : デバイスから直接テキストを読む場合は[Off]に設定し、ミラー経由でテキストを読む場合は[On]に設定します。

Loop : [On]に設定すると、スクリプトが終了しても継続的にループします（プレイリストが使用されていないときのみ有効）。

Scrolling speed : テキストがスクロールを開始する速度を設定します。

Cue marker : オプションでキューマーカーを選択し、演者が読むべきテキストの行を定義します。

Cue Background : キューマーカーの背景色を設定します（プレーンまたは複合キューマーカーを使用する場合のみ有効）。

External Display : 無効にすると、HDMI またはワイヤレスで接続されたセカンド画面はメイン画面をミラーリングします。有効にすると、テキストはセカンド画面上でのみスクロールします。

Border : テキストがモニターやビームスプリッターガラスの端に近すぎる場合に便利です。

Timer : テキストが画面上でスクロールしている時間を示すタイマーを表示します。タイマーは新しいスクリプトがロードされるとリセットされ、スクリプトが一時停止されると一時停止します。

Auto start : [On]に設定すると、スクリプトは自動的にスクロールを開始します。[Off]に設定すると、画面上のメニュー、ハードウェア、またはネットワークリモコンを使用してスクリプトを開始する必要があります。

Start delay : 開始コマンドを発行してからテキストがスクロールを開始するまでのディレイ時間（秒）をオプションで設定できます（手動開始と自動開始で機能します）。

Screenshot Enabled : Web インターフェースを介したリモートモニタリングに使用されるスクリーンショットを有効または無効にします。

Screenshot Delay (ms) : スクリーンショットが撮影され、リモートモニタリングのためにネットワーク Web インタフェースに送信される時間をミリ秒で指定します。値が小さいほどディレイは少なくなりますが、CPU とネットワークの使用率が高くなります。値を小さくすると、より高速なハードウェアが必要になります。

Break marker : ブレークマーカーと呼ばれる、スクロールしたテキストの区切りを示す * # などのテキスト文字を設定することもできます。このマーカーを使用すると、ハードウェアやネットワークのリモコンを使用して、制作の実行順序が変わった場合に、テキスト内のポイント間をすばやく前方または後方にジャンプすることができます。

Remote control : オプションの Datavideo WR-500 コントローラを使用して、スクリプトを制御することができます。

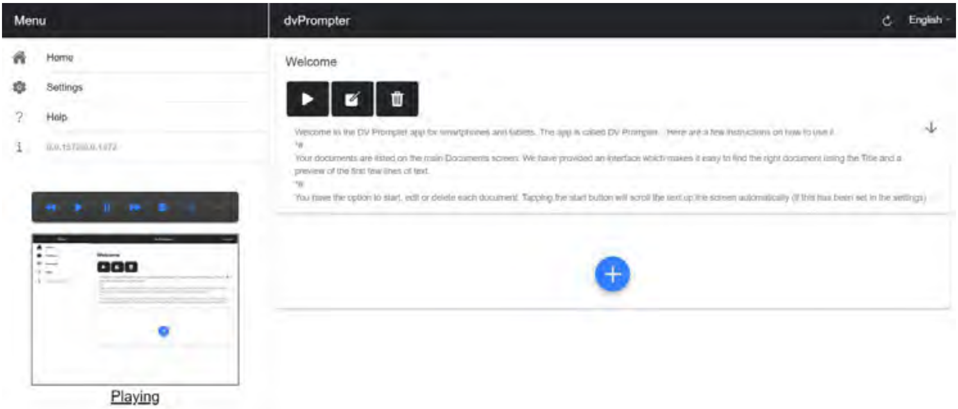
Webui Access : TP-900 のオプション機能はすべてアンロック済みです。

Enable Hotkeys : コントロールボタンにキーボードショートカットを割り当てられるようにします。このオプションは Web インターフェースからのみ設定可能です。

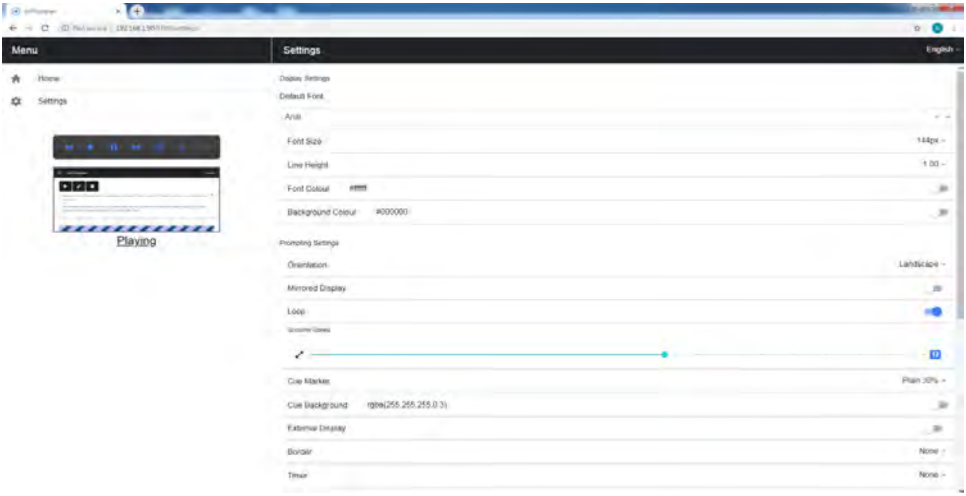
ネットワーク

デバイスが Wi-Fi またはイーサネットネットワークに接続されている場合、同じネットワーク上の他のデバイスの Web ブラウザに WebUI アドレスを入力するだけで、ネットワーク経由でアプリを完全に制御することができます。

以下に、リモコンのインターフェースの例を示します。



Edit Content
In Playlist
Welcome
Test Script
Welcome
Normal
Normal
Arial
Welcome to the DV Prompter app for smartphones and tablets. The app is called DV Prompter. Here are a few instructions on how to use it.
Your documents are listed on the main Documents screen. We have provided an interface which makes it easy to find the right document using the Title and a preview of the first few lines of text.
You have the option to start, edit or delete each document. Tapping the start button will scroll the text up the screen automatically (if this has been set in the settings) or the text will start on your command by tapping the screen and then tapping the mini play icon at the top of the screen. Tapping the screen while your document is running will display the mini control buttons at the top of the screen, here you will see buttons to start and stop the scrolling, increase and decrease the text size and return to the documents screen.
Tapping the edit button will bring up a document control screen allowing you to edit the document. Press the appropriate button for the action you want to take. You can also edit the document over the WiFi network from any other device with a web browser, please see the user manual for more information.
To add a new document, press on the + button at the bottom of the documents screen. Here you can name the document title and paste your new document from a previous copy function within your email or another text app on your device, directly into the Document text screen. Tap the blue cross in the top right-hand corner to save your new document and return to the main Documents screen. You can also create new documents over the WiFi network from any other device with a web browser, please see the user manual for more information.


Menu
Settings
English
Home
Settings
Playing
Display Settings
Default Font
Arial
Font Size
144px
Line Height
1.00
Font Colour
#ffffff
Background Colour
#000000
Prompting Settings
Orientation
Landscape
Mirrored Display
Loop
Cue Marker
Cue Background
rgba(255,255,255,0.3)
External Display
Border
None
Timer
None

複数のデバイスを同期させる

HDMI 経由

TP-900 は HDMI 入出力ポートを備えており、TP-900 の HDMI 出力を別の TP-900 の HDMI 入力に接続することで、複数の TP-900 ユニットをデイジーチェーンで接続できます。HDMI 出力ポートは、イーサネットポートの隣にあります。

HDMI 入力を使用するには
1. 付属の USB マウスを接続します。
2. 右クリックで dvPrompter Plus のアプリケーションを閉じます。
3. [HDMI IN]アプリケーションを左クリックします。
4. [HDMI IN]アプリケーションを終了するには、マウスを右クリックします。

注：HDMI 経由で外部ディスプレイを駆動する場合、スクロールのリフレッシュレートは低下します。高速でスクロールする場合、わずかなジッターを感じることがあります。

イーサネット経由

この機能により、イーサネットネットワークを介して、2 台以上の TP-900 のスクロールテキストを同期させることができます。

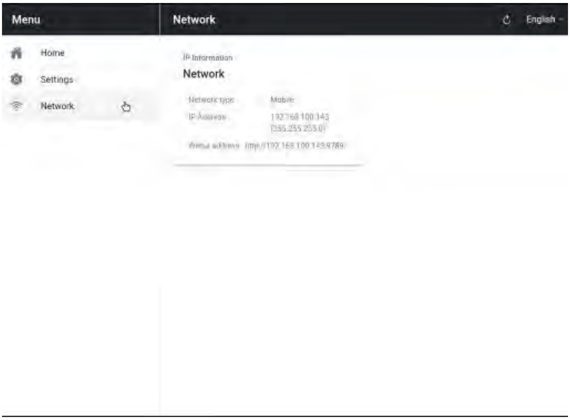
必要条件

- 同期をとるためには、すべての機器が同一である必要があります（画面の高さが同一の機器でも動作する場合がありますが、保証はできません）。
- スレーブ機器はマスター機器に負荷をかけます。接続可能なスレーブ機器の数は、マスター機器の性能に依存します。
- すべてのスレーブ機器は、マスター機器と同じローカルネットワークに接続されている必要があります。

セットアップの手順

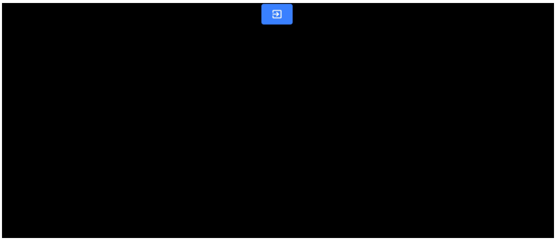
1. マスターおよびスレーブ機器は、すべて同じネットワーク上で固有の IP アドレスを持つ必要があります。すべての機器に固有の IP アドレスが自動的に割り当てられるように、すべての TP-900 を DHCP ネットワーク/ルーターに接続することをお勧めします。TP-900 を DHCP モードに切り替える方法については、該当ページを参照してください。
2. ネットワークメニューに移動して、マスター機器の IP アドレスを取得します。

3.　スレーブ機器の設定メニューを開き、スレーブモードを有効にしてマスターの IP アドレスを入力します。



4.　メニューバーのホームをタップすると、スレーブがマスターとの接続を確立している間、下の画面が表示されます。

5.　接続が完了すると、画面が白から黒に変わり、スレーブはマスターをミラーリングするようになります。
6.　スレーブモードを終了するには、画面をタップし、青い終了ボタンを押すと、アプリが終了します。

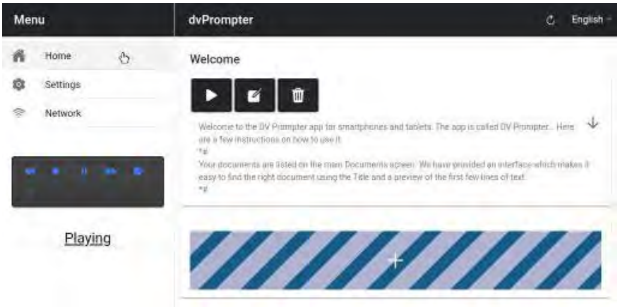


外部ディスプレイの接続

TP-900 の HDMI 出力を使って、外部ディスプレイを接続することができます。HDMI 出力ポートは、イーサネットポートの隣にあります。

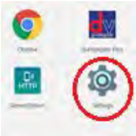
外部ディスプレイ設定無効（WebUI 制御を使用する場合推奨）
このモードでは、外部ディスプレイはデバイスの画面をミラーリングします。

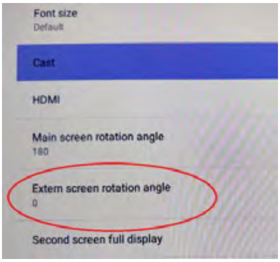
外部ディスプレイ設定有効（USB キーボードとマウスを使用する場合推奨）
このモードでは、テキストは外部ディスプレイ上でスクロールするだけで、デバイスの画面はスクリプトの制御と編集のために解放されます。スクリプトコントロールのオプションは、以下のようにメニューバーからアクセスすることができます。



外部ディスプレイの回転
デフォルトでは、内部 LCD スクリーンの回転角度は 180 度、外部 HDMI 出力は 0 度に設定されています。これは HDM で複数の TP-900 を接続する場合の正しい設定ですが、HDMI 出力を使って外部ディスプレイに接続する場合は、外部の回転角度も 180 度に設定する必要があります。

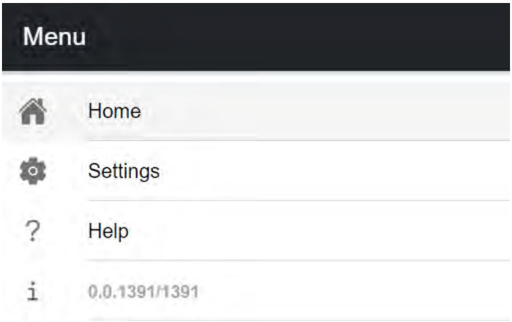
この設定を変更するには
1. 付属の USB マウスを接続し、右クリックで dvPrompter Plus アプリを終了します。
2. [Setting]アプリを 1 回クリックします。
3. [Display]をクリックし、右のように設定を変更します。



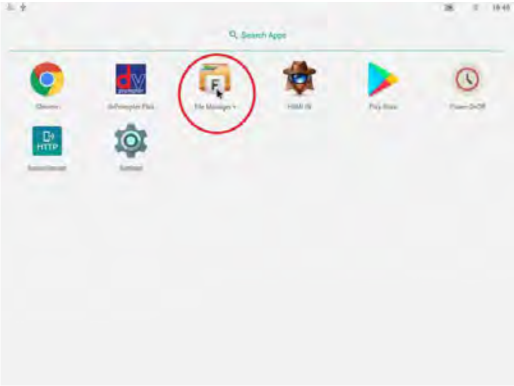


アプリのアップデート

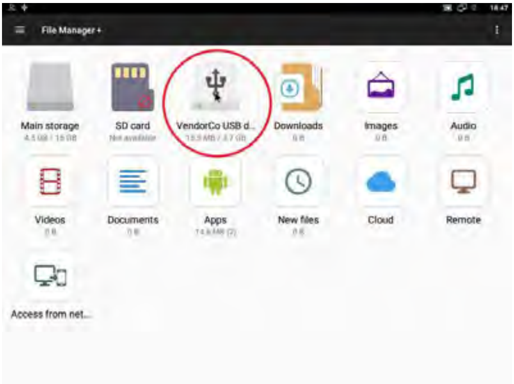
最新のアプリは、www.datavideo.com/product/TP-900 からダウンロードできます。現在のアプリのバージョンはメニューの一番下に表示されます。



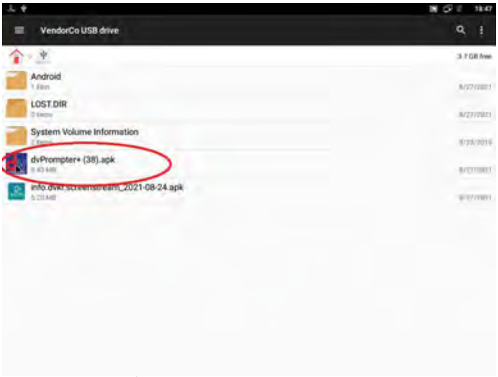
1. www.datavideo.com/product/TP-900 から最新のアプリをダウンロードします。
2. ダウンロードした .apk ファイルを USB メモリーのルートディレクトリにコピーします。
3. ファイルの入った USB フラッシュドライブを TP-900 の USB ポートのいずれかに接続します。
4. 付属の USB マウスをもう一方の USB ポートに接続します。
5. File Manager + アプリを 1 回クリックして開きます。



6. USB flash drive を 1 回クリックして開きます。



7. 先ほどダウンロードした dvPrompter Plus の .apk ファイルをダブルクリックします。



8. アップデートがインストールされ、完了すると自動的に dvPrompter アプリが起動します。

仕様

使用デバイス	15 インチモニター（dvPrompter Plus ソフトウェア内蔵）
多言語対応	英語 オランダ語 スペイン語 ポルトガル語 ロシア語
プロンプターサイズ（最大）	W535 x H590 x D350
LCD ネイティブ解像度	1024 x 768
LCD の明るさ	350 NIT
リモコン	LAN 経由で監視・制御 オプションの WR-500 有線ハードウェア リモート
重量	正味重量 10.3kg、総重量 13.3kg
動作温度	0 – 40°C
箱サイズ	610 x 510 x 2650 mm
電源	DC12V 2A (メインアダプター付属)

サポート窓口

datavideo　JAPAN

株式会社 M&Inext　datavideo 事業部

〒231-0028　神奈川県横浜市中区翁町 2-7-10 関内フレックスビル 210

TEL：045－415－0203　　FAX：045－415－0255

MAIL：service@datavideo.jp　URL：http://www.datavideo.jp/

datavideo は Datavideo Technologies Co., Ltd の登録商標です。
本書を権利者の許可なく配布、インターネットでの公開等をすることは著作権法上禁止されております。
日本語訳・制作・著作　株式会社 M&Inext

2023 年 4 月 xx 日改訂